

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.1	系列母体の理念があり実践に繋げているが、ホーム独自の理念となっておらず、ホーム独自の目標を掲げる事で、より良いサービスの実践に繋げる必要がある。	施設での研修を行ったり協議会などの研修会に参加し介護技術を見直し、研鑽しながら利用者様の安心安全を確保しつつ職員の介護技術の向上	定例会時にマニュアルを参考に基本を学び確認しながら見ていき話し合いをし評価する。 ①食事時、食事介助時のポジショニング : 正しい姿勢を確認する。 : 正しい介助の仕方	12ヶ月
2				②臥床時の体位変換の仕方 : 頭もとに体位変換表作成し貼る : 2時間に1度体位を変える : クッション、バスタオルを使用する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。